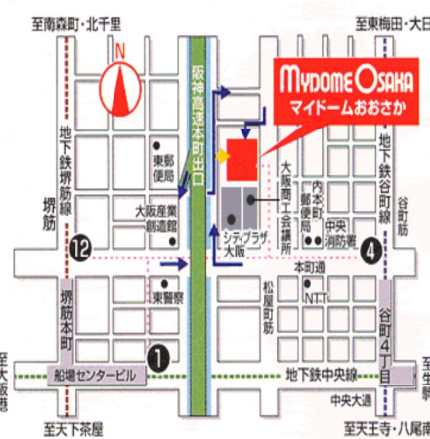




2014年
8月
創刊
1985年(昭和60年)7月
No. 350号

文紙MESSE2014に出展します！！

2014年8月7日(木)8日(金)の2日間で開催される日本最大級の文具・紙製品の見本市である、「文紙MESSE2014」に出展することになりました！
出展する商品は、テーブルマットとマウス対応デスクマットです。
会場は、大阪のマイドームおおさかです。
興味のある方は、是非弊社ブースにお立ち寄りください！！



STATIONERY & PAPER PRODUCTS MESSE 2014
文具ワンダーランド
WonderLand 5 VOL. 5
日本最大級!!
文具紙製品の見本市

8月7日(木) 9:30~ 開会式
10:00~13:00 商談会(業界関係者のみ対象)
13:00~19:00 商談会及び一般公開

8月8日(金) 9:30~17:00 商談会及び一般公開

逃げないこと

社長 森 直樹



仕事に対して、どこまで徹底するべきなのか？ 製造・事務作業の区別なく、後工程、またお客様から求められていることに対して、自分なりにベストの結果・回答を出すことが仕事です。しかし、自分が使うことのできる資源には限りがあります。資源と納期(時間)、コスト(お金)、そして自分自身の能力。その限られた資源をフルに使うことで自分の回答を出します。そこで果たしてそれがお客様にとつて望む形であるのか、全く及ばないのか、それとも望まれる以上に良いものなのか、どのレベルなのかはある程度見えてくると思います。しかし望まれていない形に丁度間に合う、あるいはそれが不明瞭な段階で、その原因となる問題を改善し解決可能なのか、それともこのまま進んで行くべきなのか、判断を迫られます。

ここでさらに突っ込んで問題を解決することが出来れば、一歩前進するわけですがこの問題を残したままの場合、いずれ別な形で同じ問題が現れることになりません。問題が追い掛けてくるわけでは、私自身も「ちょっと気になったが、手を付けていなかった」ことが後でやはり問題となったりするとは何度と無く経験があります。これも問題から逃げた結果、追い掛けられていく状態でしょう。決して逃げることに無く、最大限やり抜くことが「いい仕事」の向上につながっていくでしょう。自分の仕事を(後工程・お客様)から求められて追われるのではなく、仕事に追いついていくことで仕事を追いついていきます。

近大マグロ

牧野 光昌(企画営業部)



『近畿大学水産研究所』というレストランが話題になってきているが、大阪梅田と東京銀座の2店舗しか無く、名古屋にはまだ無い。先日「がっちりマンデー」に取り上げられたから気になったのだが、数カ月先まで予約はいっぱいらしい。何が気になったかというと「ビジネス」としての近畿大学農学部のあるいろいろな取り組み方である。「近代マグロ」「近代キャビア」「近代とらふぐ」から始まって「近代マンゴー」「近代みかん」という新種のフルーツの開発やビニールハウスの窓や出入り口に使用する「静電場スクリーン」という特殊な網戸の研究など第一次産業を第二次や第三次までに押し上げてしまおうとも思われる勢いである。さらには「乳酸菌」の研究で「アンチエイジング」を目指す、となるともう神の領域である。第一次産業は自然を相手にして自然の恵みを収穫または捕獲をする、という古代から存在する仕事です。近代になって産業革命が興って、軽工業、重工業が盛んとなり、産業の中心になり、さらにサービス業といわれる職業も興って、第一次産業は徐々に衰退していった。特に日本のような輸出を中心とした国の産業はより効率的に高付加価値商品を生産して輸出する事で国富を高めてきた。ところが最近ではそういった日本の産業をけん引してきた高付加価値商品の輸出商品が海外で価格競争に勝てない現実がある。より低コストを求めて海外へ生産拠点を移してきた結果のツケもあるが、ハイテクと呼ばれる産業が猛スピードでどんどん変化をしている事もある。そこへきて話題になっている「近畿大学農学部」は最も難しい「生命」をビジネス化して行こうという考え方に目を向けさせるような出来事ではないだろうか。最近では「植物工場」が注目を浴びており、いろいろな企業が参入を始めて、専門の展示会が東京ビックサイトで開催されるほどです。毎日レタスが1万個収穫できる工場も登場している。さらに人工培土「ヴェルデナイト」という物が開発され水耕栽培だけでなく「土耕栽培型植物工場」も登場し始めております。第一次産業のノウハウは短時間では築き上げる事が難しい分野だと思えます。日本が狭い国土の中で苦勞して高めてきた第一次産業のノウハウがこれからきつと産業界の構造を大きく変化させていくのではないかと感じています。しかし、この記事を読んで「銀座店を予約しておいたから!」という一報がどこから入るのでは、とドキドキしている私は浅はかな人間だろうか...

音楽が好き(アンプ編)

加藤 雅昭(営業部)



2000~2010、それが私のリスニングタイム。ジャンルはクラシック・ジャズ等々いろいろ聴きます。昔から音楽は好きで自分で演奏したり、コンサートに行くのが好きでした。30年以上前、学生時代にある楽曲を聞いてからオーディオで音楽を聴く、生演奏とは違い、自分でリスニングポイントを決めれるすばらしさと、アンプやスピーカーの組み合わせで音が変わってくることをしりました。あれから34年、近頃またまたオーディオをいじりだしちゃいました。これが始めるときりが無い。昔と違いソースはCDからデータへ変わり、コンバーターもどんどん進化している。前に書いたヘッドフォンもすばらしい、しかしやっぱりスピーカーでもいい音(気に入った音)で聞きたい!これ良い音してるよ!といわれてもそれは千差万別、ラジカセが良い音という人もいれば数百万円のシステムでも納得しない人がいる。アンプもさまざま、真空管アンプ、デジタルアンプ、アナログアンプ、それぞれ特徴があり、どれが良いとは言えない。先日中古で真空管アンプを購入、真空管は別途購入。このアンプは真空管がバイアス調整だけで差替え可能な為、始めは低音がしまり、高音もある程度伸びるといわれているGVALTを購入、よく真空管は柔らかくふわっとした音とよく言われますが、それは回路と真空管によるものが聞いてみてはじめてわかりました。確かにシングル回路の300Bや2A3真空管だと、とても柔らかく聞き疲れしない音がしますが、6X8はシングルでもある程度馬力があり、力強い音がしますし、プッシュプル回路ですと全体的に真の強い音がします(私の感想ですが) 私が購入したのもプッシュプル回路の手配線(基盤ではなくコンデンサー等を空中でつなぎ合わせ)。回路を見ているだけでワクワクしてしまいます。自分なりにちよつとお気に入り。メリハリはしっかりしながら女性ボーカルのサ行が刺さらない。ボーカルや楽器の音のツヤもいい!特にバイオリンはGOOD!ところが人とはならないものねだりをするもの。今度は真空管を差し替えたくなってくる、もっと高音のきれいなEL34か6X8あたりが候補かな。またショツプ通いして音を確かめてから買おうと...予算があればですね。



8月の予定

1日(金) 河野光代さん誕生日

2日(土) 第1土曜日休み

7日(木) 文紙メッセ (マイドーム大阪)

8日(金) 第2土曜日休み

9日(土) 夏季休暇

13日(水) 福重貞子さん誕生日

14日(木) 小坂美香さん誕生日

17日(日) CS会議 14時10分〜15時

18日(月) 生産会議 17時30分〜

22日(金) 第4土曜日休み

27日(水) 大石耕平さん誕生日

30日(土) 第5土曜日休み

森松株式会社のオリジナルキャラクター
守り隊の『マモリー』誕生しました!



このたびLINEスタンプデビュー☆
全40種類100円で販売しています!
いますぐクリックしてね!



森松株式会社 社内報

No: 350 平成26年7月29日

編集者

大石耕平 小原龍一 伊東義弥
小坂美香 松井宜和 伊藤雅典



日本人のいいところ

山岡 尚子 (森松産業)



先日テレビを観ていて外国人が日本の小学校に1日参観してみたいと思っただけで、まづ朝の集団登校で高学年が低学年をちゃんと引率するところでした。そして朝の挨拶にはじまり授業ごとの挨拶をするところに関心を頂いたので、学校に通っている時は決まり事でしたが、小さいころから躰付けられてきたことで、身についてくるのかもしれない。次に給食です。当番の子供が白衣を着て自分たちで配膳をしているところでした。ほぼ子供だけでやっていることがなにより驚いたようです。最後は1日の終わりに行う掃除です。外国の学校では掃除をする人を雇っていることが一般的だそうです。私たちが子供のころから当たり前とやっていたことが、外国の人からすると驚くことが多いと番組を通じてわ

かたりまし
て改めし
日本の人
は一人め
ま良き人
さなまし
先達の生
かいらの
だかなら
づかした
れ気とた
のん達学
のん達の
気とた

現在、日本を訪れる外国人の数は年間約800万人。
でも彼らの目的は?? 観光? 仕事? 留学?
そこで彼らは外国人たちの日本への玄関口、空手や相手を歓迎して
行くコンパニオンを旅行! 会社では

“YOUは何しに日本へ?”

ずるとここは・・・面白外国人の宝庫。
というわけでオモシロ外国人にはそのまま富貴。
溢れり、笑いあり、一寸先は全く読めない新感覚ドキュメントバラエティは
楽しめる番組間違いなし!
さらに彼ら外国人の目を通して見えるのは・・・
今まで気が付かなかった日本の常識と常識。
ゴールデン選出、90分枠拡大で新コーナーも続々登場します。
お楽しみに。

毎週月曜よる6時57分

YOUは何しに日本へ?
Why did you come to Japan?
MC: パナマン